

△ 注意事項 △

1. 本機は吊り上げ・敷設専用機です。埋設物の引抜き等は絶対に行わないで下さい。
 2. 用途外(定格容量, 形状, 材質)のものには絶対に御使用しないで下さい。
 3. カムの山が半分程度(谷から約1mm)まで磨耗しましたら、吊荷の落下等の恐れがありますので、速やかにカムの交換を行って下さい。
 4. 吊上げ作業中は絶対に荷の下に身体を入れないで下さい。又作業者は吊荷より安全な距離を確保し作業にあたってください。
 5. 本機でのブロックの吊り上げには運搬荷役機械(クレーン)以外は御使用にならないで下さい。
 6. 吊荷を吊り上げたままの運搬荷役機械(クレーン)の移動はブロック落下の原因となり大変危険です。絶対に行わないで下さい。
 7. 吊具に変形、破損等、異常が認められる場合は、御使用を避けて下さい。メーカー又は、販売店まで御連絡頂き、修理等の処置を受けて下さい。
- ☒ 以上の使用方法、注意事項を確実に御守り下さい。本機欠陥以外に万一事故等が発生した場合、保証の対象となりませんのであらかじめ御了承下さい。

コンクリート製品吊具総合メーカー

SAN・KYO TRADING CO., LTD.

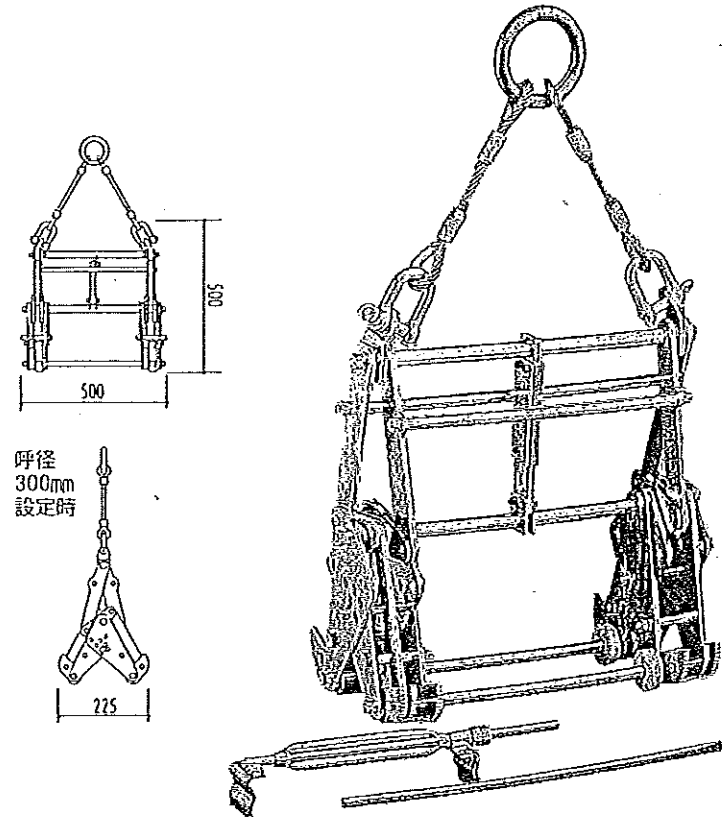
東京都あきる野市平沢東1-3-8

☎(042)558-2111

☎(042)559-7777

内吊ワイド600

取扱い説明書



SAN・KYO

I. 本機セット方法

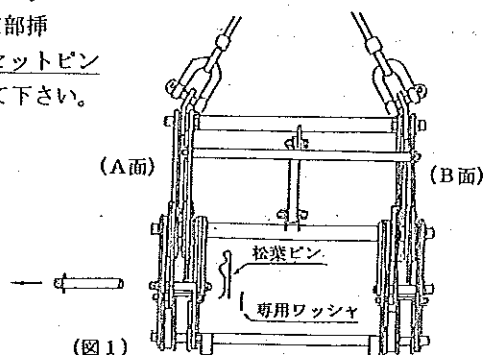
注：（出荷時は、300 mm用にセットされております。）

① まず、本機吊具内側(A面)の松葉ピン、

専用ワッシャを取り外して下さい。

次に、本機本体板、外側に（穴部挿入より）飛び出しているセットピンを片側1本だけ取り出して下さい。

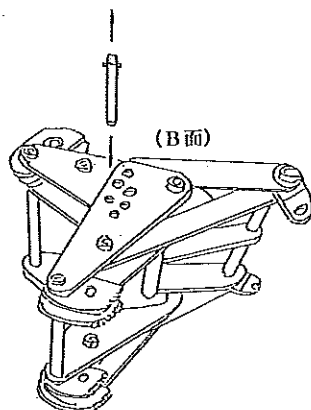
（図1）



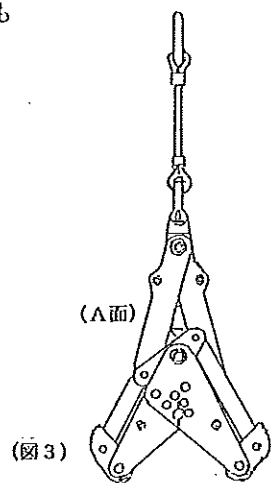
② まだ取り出していない反対側(B面)のセットピンを抜く時は、本機を横に立たせピンを抜いて下さい。（図2）

③ 本機を横に立たせたままU字溝呼び径に合わせ、所定のセット穴にセットピンを挿入し、専用ワッシャ・松葉ピンで固定して下さい。（図2）

（図2）



④ 本機を（図3）の状態にし、反対側(A面)も③と同じU字溝呼び径に合わせ、所定のセット穴にセットピンを挿入して、専用ワッシャ・松葉ピンで固定してセット完了です。



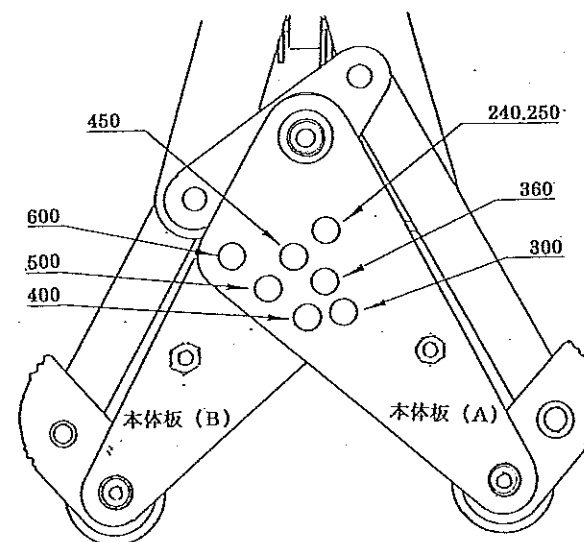
II. 本体板穴位置による使用寸法

① 本体板には7個の穴が設けられており、この穴位置により JIS 呼び径 8 種類の U 字溝の対応が出来ます。

（呼び径 240,250,300,360,400,450,500,600 mm）

② 使用する U 字溝の呼び径に、本体板(A)と本体板(B)の穴位置を一致させ、セットピンを挿入し、専用ワッシャ、松葉ピンで固定して下さい。

※ この時、本機を横に立て幅変更を行って下さい。



※ U 字溝呼び径の使用寸法（単位 mm）

注意：穴を真上から見たとき少しでも穴がズレていた場合には、セットピンの挿入は出来ません。ズレている場合は本体板の穴位置を再度確認し作業を進めて下さい。

サンキョウ吊具の管理方法と点検

ゼロ災害への安全作業の第一歩は、まず吊具の点検・管理から始ります。吊具を最良な状態に保ち、効率的に安全作業が行えるためにも下記の事項を必ず守ってください。

吊具管理のポイント

① 保管方法

- ・保管場所は屋内とし、作業後は屋外に放置しないでください。
- ・必ず用途別・使用基準別に管理する。

② 日頃からの点検・整備

- ・使用頻度の多少によらず、始業点検と終業時整備は必ず実行してください。
- ・作業の有無に関係なく、定期点検・整備は最低月1回は行う。
- ・点検整備時には泥や水気などをとり、注油してください。

(※グリスの使用は厳禁！)

③ 不良吊具の使用厳禁

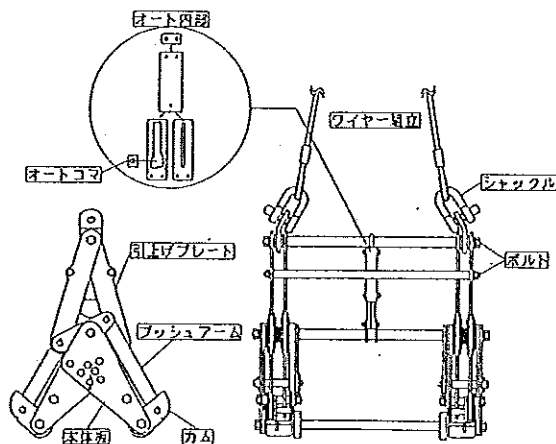
- ・損傷、変形、磨耗した吊具が発見されたら使用中止し、直ちに交換してください。
- ・不良吊具や部品は使用現場に放置しない。

④ 早目に部品交換

- ・使用限度ギリギリまで使用せず、早目に部品交換を行う。
- ・直ちに交換などの処置をし、不良部品は完全に廃棄する。

⚠ 注意 ⚠

各種吊具をご使用前には、必ず取扱説明書をお読みください。



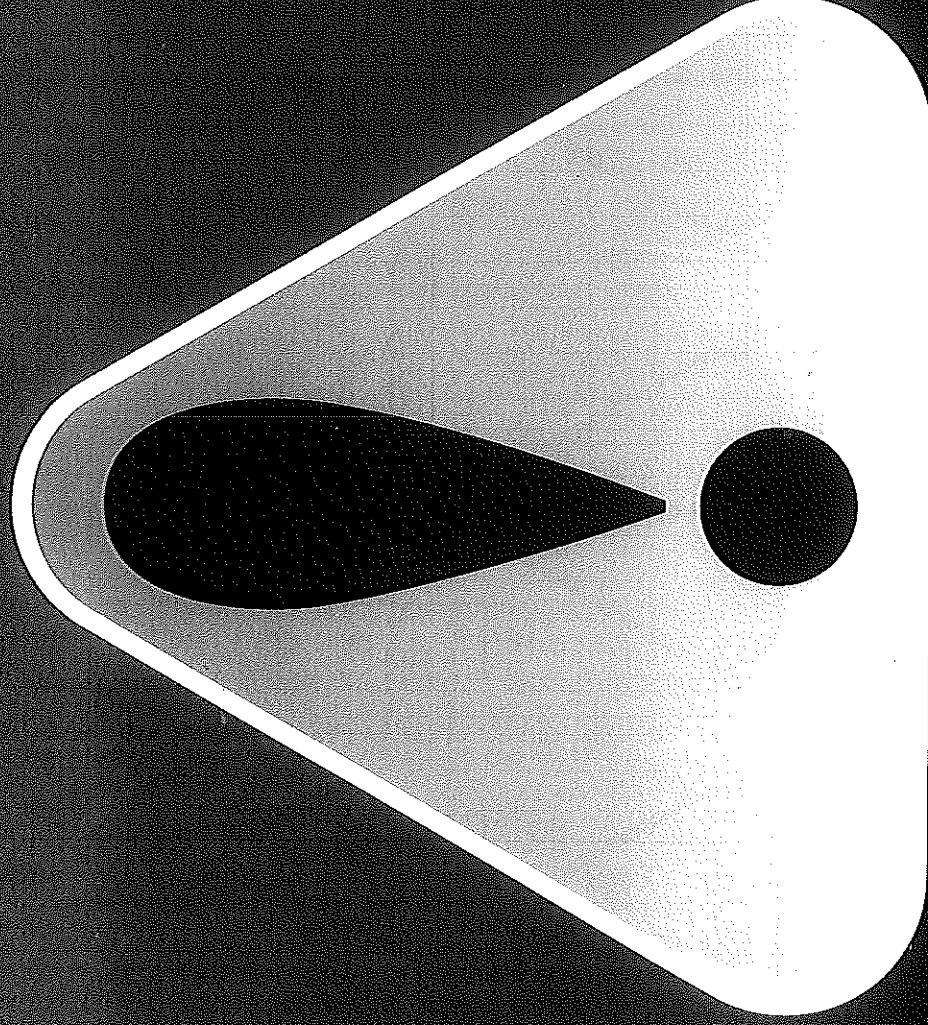
点検基準

下記表は吊具を点検する目安のものです。該当する項目が1つでもあれば、その吊具の使用中止し、メーカーまたは販売店までご連絡ください。

点検箇所	点検項目	点検内容	使用限界	処置
本体	変形 磨耗	1. 本体部の変形、ねじれはないか 2. 孔の変形、磨耗はないか	・ 本体部の変形、ねじれがあるもの ・ ピンと孔の隙間が 1.5mm 以上磨耗しているもの 	廃棄
カム類	磨耗 歯こぼれ 目詰まり	1. 歯形の磨耗はないか 2. 歯こぼれはないか 3. 塗料などの目詰まりはないか 4. 孔の磨耗はないか	・ 山が 2 mm 以上磨耗しているもの ・ 谷にクラックのあるもの 磨耗巾 クラック	交換
アーム類 プレート類	変形 磨耗	1. 傷や変形はないか 2. 孔の変形、磨耗はないか	・ 1 mm 以上の変形、磨耗があるもの ・ ピンと孔の隙間が 1.5mm 以上磨耗しているもの 	交換
ピン類 ホルダー類	変形 磨耗	1. 変形による偏芯振れはないか 2. 磨耗していないか 3. ねじ山の痛みはないか	・ 変形や磨耗が認められるもの 	交換
オート部	作変 磨汚 動形 耗れ	1. オート機構がスムーズに作動するか 2. 曲がりやねじれはないか 3. オートコマの磨耗はないか 4. 泥やゴミのつまりはないか	・ 変形や曲がりのあるもの ・ オートコマの磨耗が 1 mm 以上あるもの ・ 泥やゴミがつまっている場合はオート内部をきれいに拭き取り、潤滑油を注油して下さい (※グリスの使用は厳禁！)	交換
巾調整 シャフト (クイット)	変形 磨耗	1. 変形や曲がりはないか 2. プレート取付け溝の磨耗はないか	・ 変形や磨耗が認められるもの 	交換
ワイヤー	磨耗 キンク 断線	1. 傷や断線、磨耗はないか 2. キンクを起こしていないか 3. 錆が出ていないか	・ JIS 規格点検基準に準じて下さい	交換
シャックル	磨耗 曲がり ねじれ	1. 傷や変形はないか 2. 吊上げ部が磨耗していないか 3. 孔の変形、磨耗はないか	・ 目視で変形が認められたもの ・ 孔径が 1 mm 以上の変形、磨耗があるもの	交換
その他	注油	1. 動作部に油切れはないか	・ 油気のないもの	注油

取扱い警告・注意書

〈コンクリート製品吊具共通〉



ご使用前に、必ずお読み下さい！

▶ 本書を紛失されないよう、保管して下さい▼

——●現場のニーズと対話する●——
株式会社 サンキョウ・トレーディング

はじめに

この度は、懸サンキョウトレーディングのコンクリート2次製品吊具(以下吊具という)をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございました。

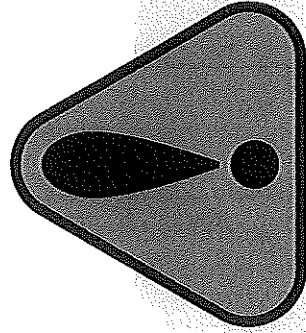


吊具を「安全に能率よく」御使用頂く為に、作業を行う前には本書及び別紙機種別取扱説明書を十分お読み頂き、理解した上で正しい使用方法のもとご使用下さいますようお願い申し上げます。

●目次

危険事項	1
警告事項	2・3
注意事項	4
点検・保管について	5

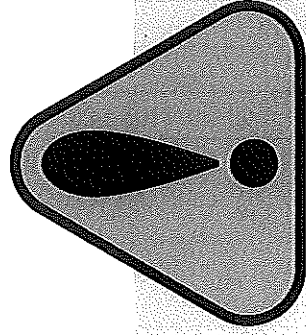
危険度を表わす記号



危険

生命や身体に
重大な被害が
発生する可能
性が高い危険

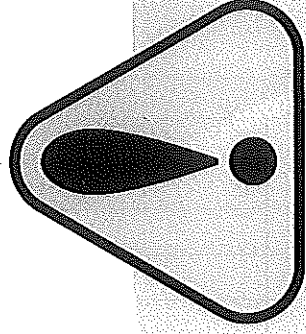
DANGER



警告

生命や身体に
重大な被害が
発生する可能
性がある危険

WARNING

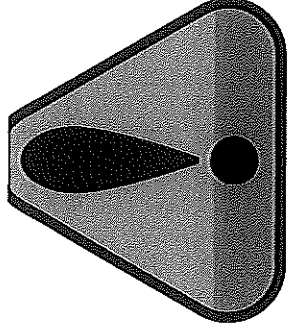


注意

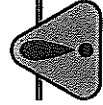
軽・中傷程度
の被害が生じ
る恐れがある
危険

CAUTION

危険

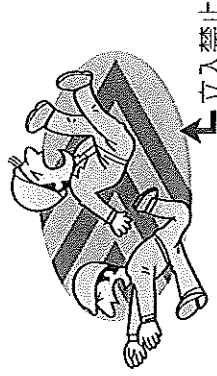
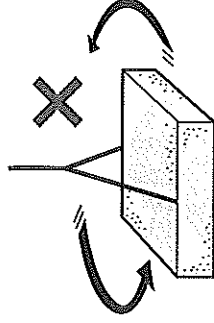
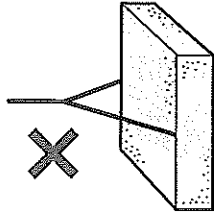


DANGER!

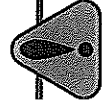
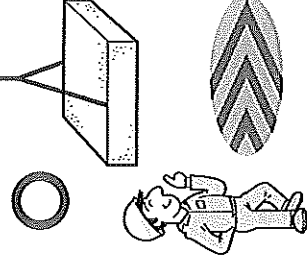


危険①

荷の下や荷の
旋回範囲内は
立入厳禁!!

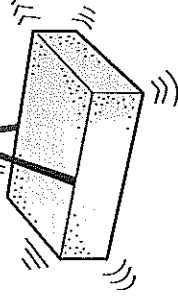
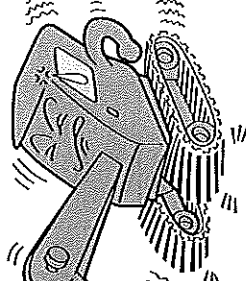
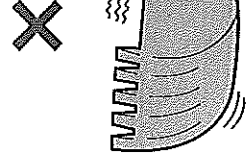


② 作業者は、安全な
距離を確保する。

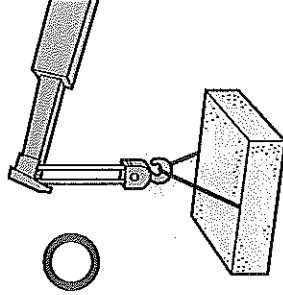


危険②

吊上作業の際は
運搬荷役機械
(クレーン)
以外は
使用しないで
ください。

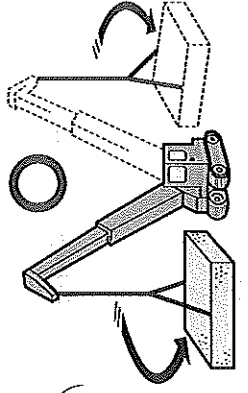
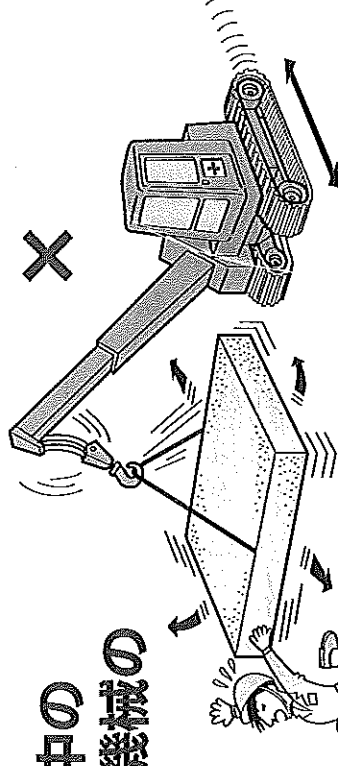


③ 運搬荷役機械
(クレーン)を
使用する。



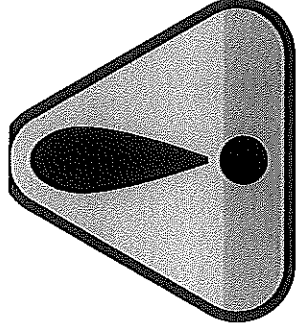
危険③

吊上作業中の
運搬荷役機械の
移動は
厳禁!!



④ 吊上物の移動は、
クレーン旋回範
囲動作内で行っ
てください。

警告

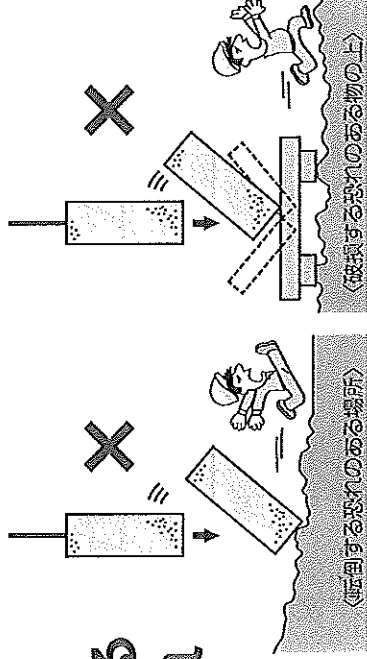


Warning!

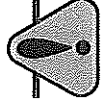
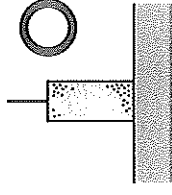


警告①

転倒する恐れのある場所、破損する恐れのある物の上に荷をおろさない。

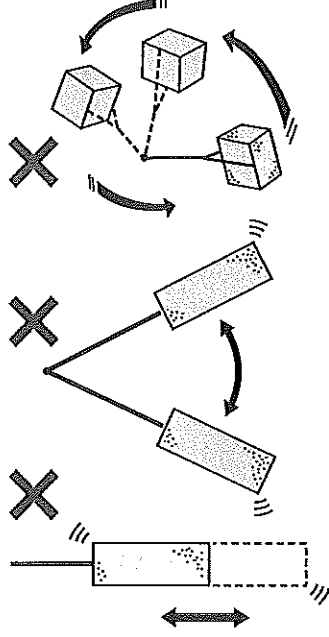


② 荷の転倒する恐れのない平らな場所へ着地させる。

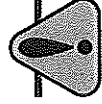


警告②

吊上作業中は、激しい上下・左右・回転運動は与えないで下さい。

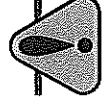
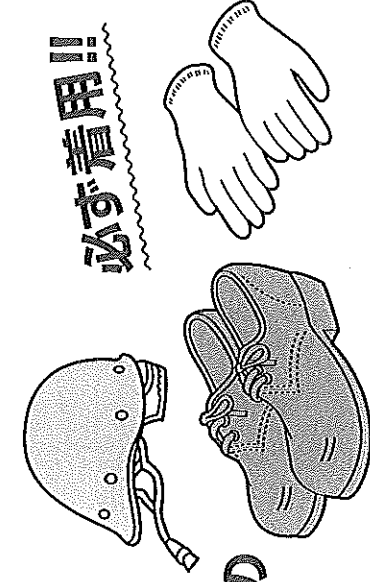


③ 吊上中は、激しい振動を起こすような操作はしない。



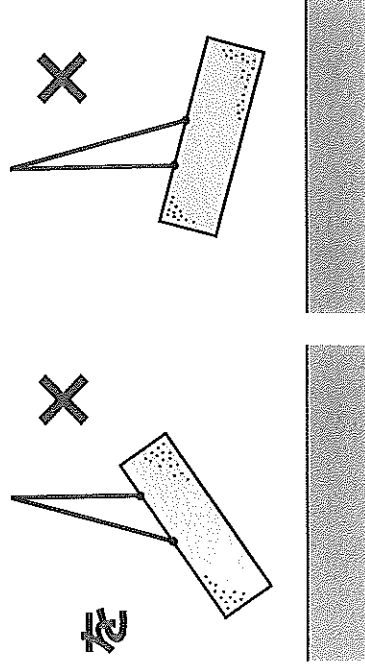
警告③

作業の際は、必ず安全ヘルメット・安全ぐつ・安全手袋等の保安具を着用する。

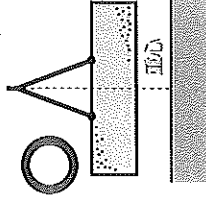


警告④

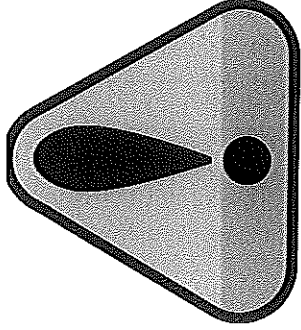
確実な「重心出し」をする。



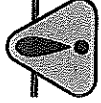
⑤ 荷は水平に吊るように重心を出す。



警告

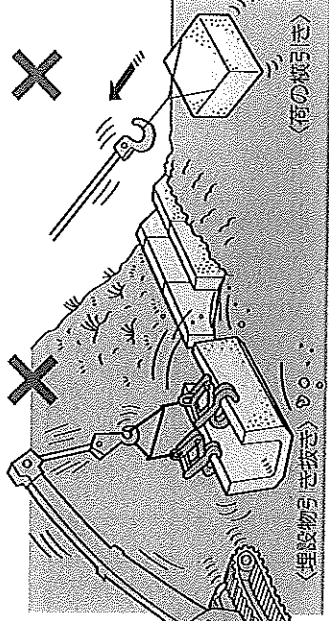


Warning!

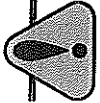
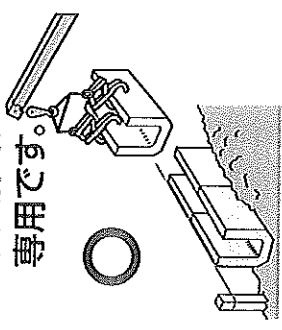


警告⑤

埋設物の引き抜き、
荷の横引き
厳禁!!

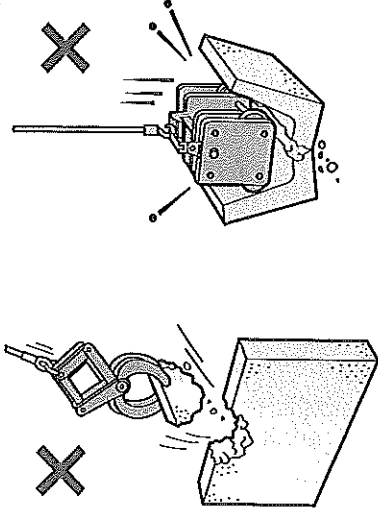


⑤ 敷設作業
専用です。



警告⑥

コンクリート製品が
養生期間中の物は、
使用厳禁!!

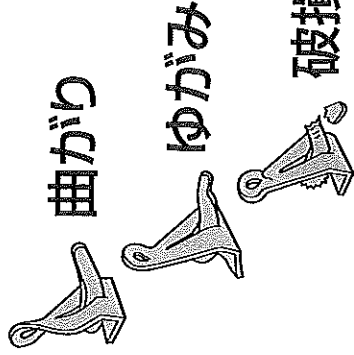


⑥ コンクリート
製品は養生期
間が規定通り
されているも
のに限る。



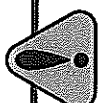
警告⑦

吊具に異常が
見られる場合には、
ただちに使用を
中止する。



**使用
中止**

⑦ メーカーまた
は、販売店ま
でご相談くだ
さい。



警告⑧

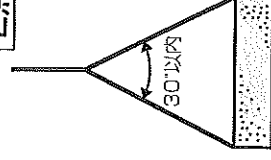
吊りワイヤーロープは、
定格容量以下の物は
使用しない。

▼この表を参考に吊りワイヤーを使用して下さい。

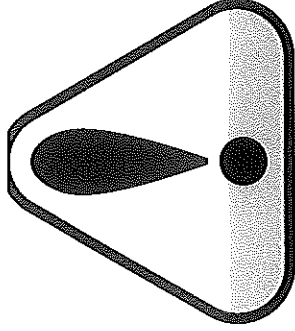
ロープ径	安全荷重 (吊り荷)	安全荷重 (吊り荷及び埋設物)
8	0.54t	1.04t
9	0.68t	1.31t
10	0.84t	1.61t
11.2	1.05t	2.02t
12.5	1.31t	2.52t
14	1.64t	3.15t
16	2.13t	4.09t

(JIS4号A種参考)

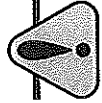
2点吊角度



注意

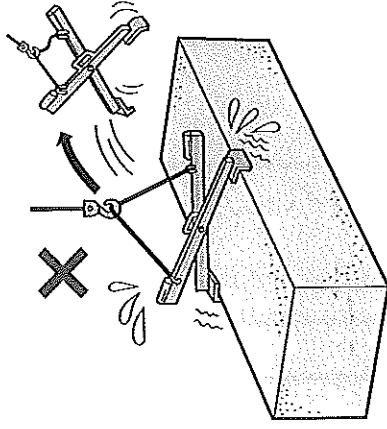


CAUTION!

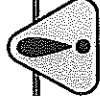
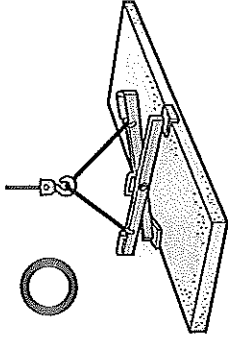


注意①

定格容量の厳守!!

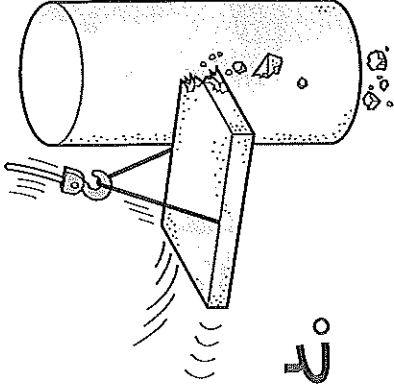


① 定格容量以上のものに
使用しないこと。

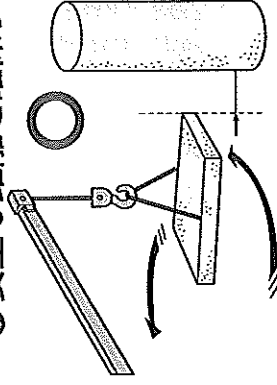


注意②

**吊上作業中は、
吊荷・吊具共、
障害物に
接触させないこと。**

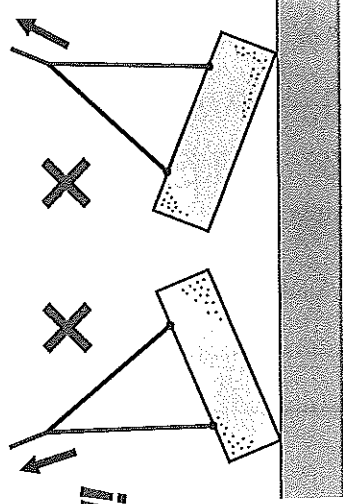


② 安全な距離を確保する。

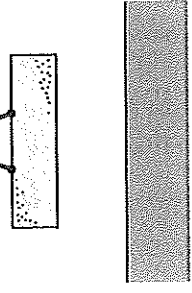


注意③

吊上方向の厳守!!



③ 必ず垂直
方向へ吊
上げる。



注意④

**消耗部品は、摩耗状況などを
良く確認し、交換を行って
ください。**



注意⑤

吊具の改造・修理は厳禁!!

⑤ メーカーまたは、販売店まで
ご連絡ください。

点検・保管

点検

使用前・使用後

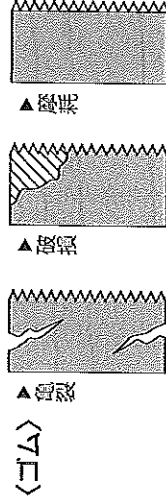
1 吊具(本体)に曲がり・ゆがみ・破損等がないか確認！

異常が認められる場合は使用を中止する。
 ◎販売店または、メーカーまでご相談下さい。

2 消耗部品(歯ギリカム・ゴム)の確認！

歯ギリカムは、歯先の山が〈歯ギリカム〉
 1/3以上摩耗したら使用を
 中止する。
 ◎部品を交換して下さい。

ゴムは、亀裂・破損及びゴム山が無くなるまで
 摩耗したら使用を中止する。
 ◎部品を交換して下さい。



3 ボルト・ピン類の変形・摩耗確認！

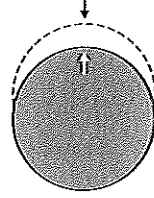


◎部品を交換して下さい。

4 ボルト・ピン孔変形の確認！

ボルト孔径が10%以上の
 変形が認められる場合は、
 使用を中止する。

◎部品を交換して下さい。



5 スプリング使用部分の確認！

スプリングの伸び・破損(変形)により、吊具
 本来の動作に支障が認められる場合は使用
 を中止する。

◎部品を交換して下さい。

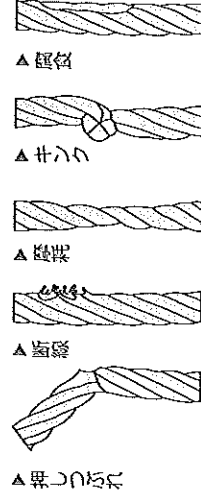
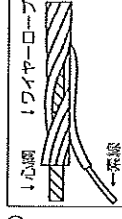
6 注油について！

定期的に必要箇所は、潤滑油の注油は行います
 が、グリスの使用については、必要以上に使用
 すると、吊具の動きに支障が出てくる場合があ
 りますので、ご注意ください。

7 ワイヤロープの確認！

吊具に備っているワイヤロープ及び、お客様
 がご用意されているワイヤロープについて、
 以下のものは使用禁止。

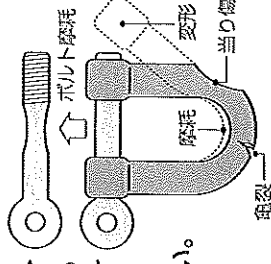
- ① 安全荷重が荷の重量以下のもの
- ② 押しつぶれ、キンク、形くずれ、
 摩耗、腐食があるもの
- ③ 索線の断線があるもの



8 シャックルの確認！

シャックルに、変形・亀裂・
 当り傷・摩耗等が認めら
 れる場合は使用を中止す
 る。

◎部品を交換して下さい。



保管

吊具の保管は、風通しの良い、乾燥した倉庫または、
 屋根のある所に置いて下さい。

一度使用した吊具は必ず、付着している砂、泥等を
 落して下さい。